



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト

十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～

十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けて #まるコラボ

2024年9月24日 18時30分～

帯広厚生病院@ウェビナー ハイブリッド

十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けて

本日の研修会の目標

- # 1. 北海道十勝地域のがん患者さんご家族向けの**支援の現状と課題**を概説できる
- # 2. がん患者さんの**QOLの向上**と**支援の充実**に向けた**関わりの事例**を説明できる
- # 3. 地域におけるがん患者さんの支援に向けた**多職種チームアプローチの意義**を説明できる

十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～

①開会あいさつ

帯広市市民福祉部健康保険室健康推進課長

②導入

十勝地域でがん患者さんご家族を支えるために 渡邊 清高

③講演

- ・帯広厚生病院におけるがん診療と在宅医療連携
- ・在宅緩和ケア充実診療所における在宅がん診療
- ・在宅見取りを支える在宅医療連携
- ・がんの治療中から終末期までを支える在宅医療の取り組み

大野 耕一
酒井 俊
山田 康介
杉山 絢子

④グループワーク

- ・会場参加者限定・オンライン参加者は待機です

⑤まとめ・閉会あいさつ

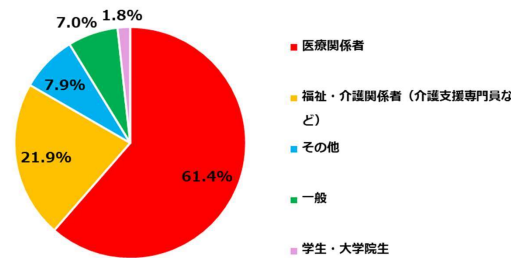
北海道厚生連 帯広厚生病院 副院長 大野 耕一

ご参加の皆さま (9月19日時点)
n=114名

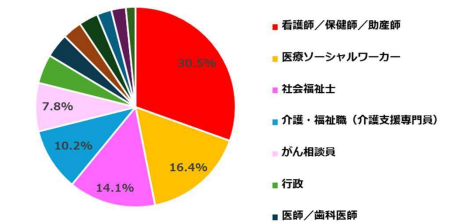
十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～

職種をお聞かせください



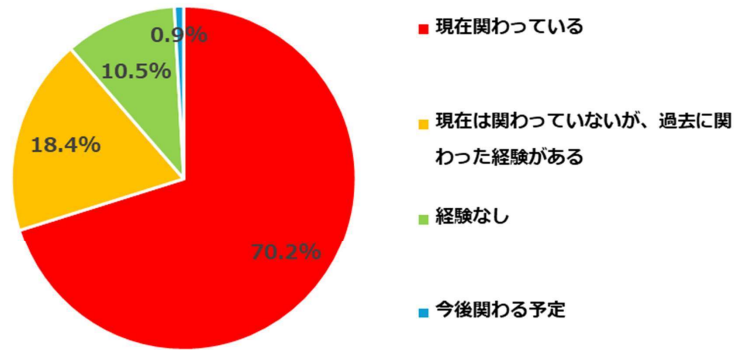
職種・専門分野をお聞かせください (複数選択可)



十勝地域のがん患者さん支援の
充実にに向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～

がん患者支援に関わったご経験をお聞かせください



十勝地域のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. 患者さんを支える多職種チームケアと地域連携
2. 地域に広がるネットワークづくりに向けて

ご参加の皆さまからのコメント (9月19日時点)
114名時点

十勝地域のがん患者さん支援の
充実にに向けたセミナー2024

～大空と大地の中でがんの在宅療養支援を考える～

- ・今後、**関わるが増えていく**と思い、学習できればと思っています。
- ・十勝地域も範囲が広く、**医療・福祉資源の格差**があるのではないかと想像する。その**課題と対応ケース**について知りたい。
- ・**がん相談支援センター**で働いています。今回セミナーで地域のことなど知ることができたらと思い参加希望しました。

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- 1) 自分らしい日常生活を送ることができている
- 2) 診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できた
- 3) 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分である

数値
70.5% [80.8%](※)
76.3%
成人: 48.7% [57.6%](※) 小児: 39.7%

・患者体験調査では、自分らしい生活をおくることができていると感じる患者、相談できると感じる患者は増加している
・拠点病院のがん相談支援センター、地域統括相談支援センター、民間団体による相談窓口、がん情報サービスなどの活用を推進している

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

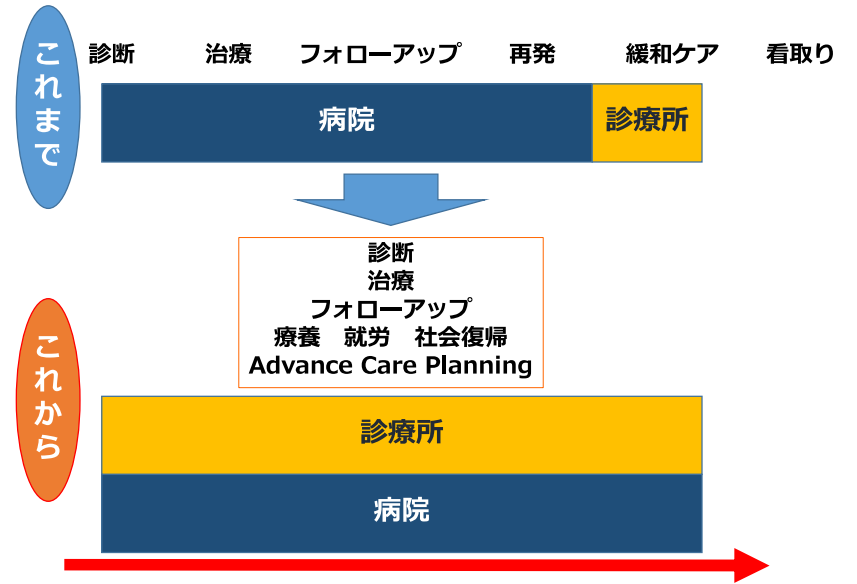
①緩和ケアの提供について

- 1) 療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている
- 2) 療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えている

数値
40.4%(痛み)
47.2%(からだの苦痛)
42.3%

- ・療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている患者（遺族調査）は4割
- ・終末期の痛みの原因についての調査、呼吸困難・せん妄等に関するアルゴリズムの開発に取り組んでいる
- ・緩和ケアに関する課題に対する必要な取り組みについて議論する

2018年度がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業



病院内チーム：手術、放射線治療、抗がん剤治療などのがん治療の急速な発展により、高度な集学的治療の提供が可能になる一方で、複数の専門職による関与が不可欠になりました。



地域医療チーム：一方、高齢化社会によるがん患者の増加、支持療法の進歩、患者のQOL重視の視点などから、がん治療は入院から外来にシフトしつつあるため、病院外の専門職の関わりが必要になってきています。



地域包括ケアチーム：さらには、生活者としての患者・家族を支えて治療を行う、看取りを含めたケアを住み慣れた環境で実現するための、介護福祉関係者、行政、市民を含めたチームという考え方も広がりつつあります。

患者必携 がんになったら手にとるガイド
国立がん研究センター 2013

十勝地域のがん患者さん支援の充実に向けて

1. 患者さんを支える多職種チームケアと地域連携
2. 地域に広がるネットワークづくりに向けて

北海道 がんサポートハンドブック (2024年)



- ・北海道の「がんに関する相談窓口」情報
がん相談支援センター・拠点病院・指定病院
地域統括センター
- ・専門相談
セカンドオピニオン、口腔ケア、小児がん、
アピランスケア、がんゲノム医療、
治療と仕事の両立支援、就職支援
- ・緩和ケアに関する情報
緩和ケア、緩和ケア病棟を開設している病院
- ・医療費・生活費・生活支援に関すること
治療費の負担軽減、生活費支援、療養生活支援
自己負担限度額、妊よう性温存療法研究促進事業
アピランスケア助成事業
- ・ピアサポートに関する情報
北海道がん患者連絡会、患者会と患者支援団体、サロン

地域におけるがん患者の緩和ケアと在宅療養情報普及と活用プロジェクト

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクト

がんの在宅療養



がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド
～暮らしの療養生活をかなえる安心の1冊～

必要なところから読む

第1章 在宅での療養を始める	第2章 通院で始める
第3章 社会とのつながりを保つ	第4章 住み慣れた自分らしく暮らす

2015年公開
全文を無料で読める
がん診療連携拠点病院に見本版を提供
2016年書籍化
2022-23年 改訂
2024年5月 新版発行 ネット公開



「がんの在宅療養」をテーマとしたフォーラムと研修会と成果発信



さまざまな連携：
がん拠点病院・県・患者団体
学会・企業・メディアなど
実行可能性を広げる：
標準化した情報提供・共有
患者・市民フォーラム
専門職向け研修会
成果物イメージ：
トピック・地域ごと提示
協働に向けた提案

- ・対象と目的が明確
- ・関係者の参画と独立性担保
- ・作成プロセスと合意形成
- ・わかりやすさ、患者・当事者の視点
- ・利用者による研修会・説明会の試行

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

在宅療養を支える家族向けの情報

内容についての意見

- ・患者本人とのコミュニケーションの取り方がわかる
- ・家族のケアのやり方、最期のときの様子がわかる
- ・気持ちが動転しているときに、大変役立つ内容
- ・心の準備ができる、気持ちの余裕を取り戻せる

届け方についての提案

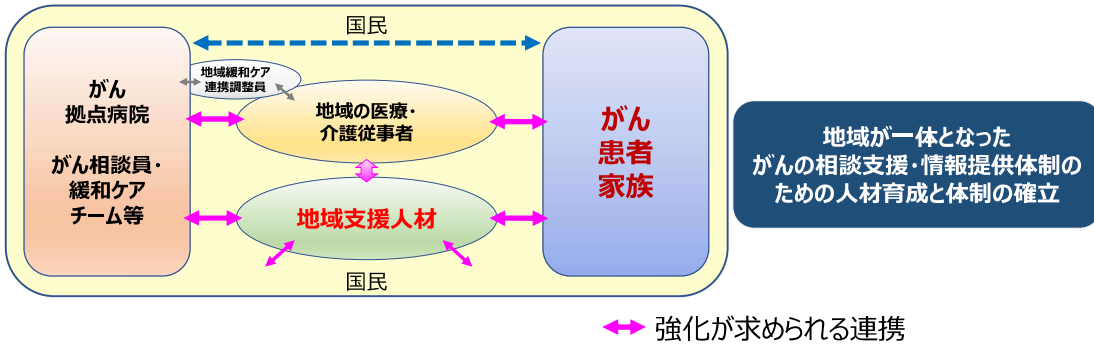
- ・手に取るタイミングが非常に重要。自他ともに受けとめる時期が良いのでは。
- ・病院、在宅医、訪問看護ステーション、薬局など、目に触れる機会を増やすことが大切。

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

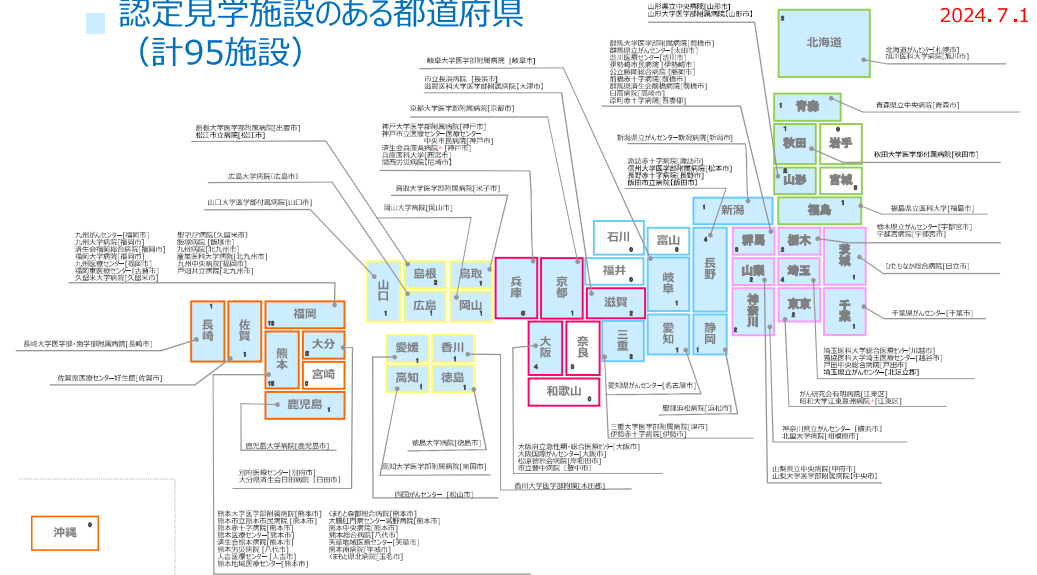
地域における相談支援活性化人材の育成の例 がん医療ネットワークナビゲーター（日本癌治療学会）



がん相談員を支援する（外部の）人材を育成



認定見学施設のある都道府県 (計95施設)



2024/7/1

	シニアnavi	navi	e-LEARNING 受講者	受講者数
北海道	12	13	7	32
青森県	0	6	1	7
岩手県	0	1	2	3
宮城県	0	3	4	7
秋田県	1	13	2	16
山形県	2	10	4	16
福島県	1	7	10	18
茨城県	0	3		3
栃木県	0	1		1
群馬県	3	8	14	25
埼玉県	7	5	28	40
千葉県	1	9	16	26
東京都	3	55	69	127
神奈川県	4	16	35	55
新潟県	2	4	7	13
富山県	0	0		0
石川県	0	1	3	4
福井県	0	1	2	3
山梨県	0	0	2	2
長野県	0	3	6	9
岐阜県	2	5	5	12
静岡県	1	9	4	14
愛知県	2	10	16	28
三重県	3	3	4	10

	シニアnavi	navi	e-LEARNING 受講者	受講者数
滋賀県	4	0	7	11
京都府	1	1	3	5
大阪府	3	19	22	44
兵庫県	3	6	9	18
奈良県	0	3	2	5
和歌山県	0	0	0	0
鳥取県	0	2	1	3
島根県	0	1	1	2
岡山県	1	4	4	9
広島県	1	7	5	13
山口県	0	2	3	5
徳島県	1	0		1
香川県	0	2	1	3
愛媛県	1	3	3	7
高知県	0	2	2	4
福岡県	11	142	62	215
佐賀県	1	6	6	13
福岡県	0	10	14	24
熊本県	7	31	38	76
大分県	2	20	12	34
宮崎県	0	1		1
鹿児島県	0	3	7	10
沖縄県	0	2	7	9
合計	80	453	450	983



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト

#まるコロボ

がん患者のための多職種チームケアと 地域医療連携を推進するプロジェクト

地域におけるがん医療の環境を踏まえ、チーム医療を推進・向上させ、地域医療連携のもとで質の高い患者ケアを実現することを目的として教育研修プログラムを開発し提示します。

がん治療とケアを患者に確実に届けることで、より良いアウトカムにつなげることを目指します。

日本癌治療学会／ファイザー医学教育助成金
「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」



一般社団法人
日本がんサポーターズケア学会
Japanese Association of Supportive Care in Cancer



在宅がん療養財団



ご清聴ありがとうございました

がんを知り
がんと向き合い
がんになっても安心して暮らせる社会づくりを



がん患者のための多職種チームケアと
地域医療連携を推進するプロジェクト